

| | |
|------------------|---|
| Title | ベンチャー企業における経営管理に関する一考察 |
| Sub Title | |
| Author | 古谷圭(Furuya, Kiyoshi) 千本倅生 |
| Publisher | 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 |
| Publication year | 1999 |
| Jtitle | |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 修士学位論文. 1999年度経営学 第1547号 可能 |
| Genre | Thesis or Dissertation |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1547 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

| | | | | | |
|--|-------|------|----------|----|-----|
| 所属ゼミ | 千本研究会 | 学籍番号 | 89828837 | 氏名 | 古谷圭 |
| (論文題名) | | | | | |
| ベンチャー企業における経営管理に関する一考察 | | | | | |
| (内容の要旨) | | | | | |
| <p>ベンチャー企業に対する社会的期待が高まっている。</p> <p>平成不況のなかにおいて、既存の産業構造が見直され、新たな産業秩序を構築していくことが求められている。そして新産業の構築をリードし、多くの新たな雇用機会を生み出すことがベンチャー企業に期待されている。そのような状況を背景として、現在第三次ベンチャーブームにより支援インフラの整備が急速に進められている。しかし一方で、いまのところそれが十分な成果を上げるには至っていない。</p> <p>本研究は、日本における課題として、ベンチャー企業の行う経営管理（ベンチャーマネジメント）に焦点を当てたものである。そしてその目的は、より良いベンチャーマネジメントのための理論構築である。事例研究のスタイルをとり、先行事例をもとに理論を構築し、実践との融合を図っていこうとするものである。</p> <p>本研究ではベンチャー企業が成長する過程に焦点を当て、そこでのマネジメントにおける問題を取り扱った。つまりベンチャー企業のスタートアップからの成長過程におけるマネジメントのあり方について、動態論的な立場から分析を加えた。</p> <p>まずベンチャー企業が成長する過程を成長ステージに区分し、それぞれのステージにおけるマネジメントのあり方を明らかにした。ベンチャー企業に必要なマネジメント要素を起業家、マーケット・マーケティング、供給システム、管理システムの四つに分けた場合、成長ステージごとにそれぞれの要素の内容が異なり、またそれぞれが全体のマネジメントに占める割合も変わる。また経営資源についても、成長ステージにあわせて蓄積あるいは投入する必要がある。</p> <p>このようなベンチャーマネジメントにおける本質は、成長ステージごとの「マネジメントの変革」にある。ときにその変革は、マネジメントのパラドキシカルな変革を強いる。急激な成長を遂げるベンチャー企業では、当然マネジメントの変革にもスピードが求められ、そこにベンチャーマネジメントの困難性があるといえる。</p> <p>ベンチャー企業の成長過程における問題は、成長ステージにあわせて「マネジメントを変革できない」という形で現れる。そしてマネジメント変革を妨げる理由としては、成功体験による過信、怠慢、油断および企業成長に伴うパラドックス、組織の慣性をあげることができる。本研究でベンチャーマネジメントの失敗のケースとして採りあげた株式会社カンキョーにおいても、マネジメント変革の問題が現れていた。</p> <p>そして最後に、マネジメント変革の問題を乗り越え、成長を続けるベンチャー企業の特徴を実際の事例より抽出し、マネジメント変革のための組織的条件を明らかにした。成長を続けるベンチャー企業の特徴は、組織に対するゆるぎ（刺激）の与え方にあるとし、マネジメント変革の条件として、組織に絶えずリーダー、組織内部、組織外部の三つの方向からゆるぎを与える必要があると結論づけた。</p> | | | | | |